

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ITビジネスとリスク環境論 I (TDB209)	配当学年	2
講義名（コード）	ITビジネスとリスク環境論 I (TDB209)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	春
専攻		履修区分	必修
授業担当者	内田 晋太郎 氏	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	行政書士		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	基本的法律体系の理解の上で現在のデジタルビジネスを取り巻く法律・コンプライアンス関係諸問題への知識を身につける
到達目標	企業活動上のリスクマネジメントの基礎を理解する。最低限どんな事項があるかは習得する。
全体の内容と概要	コンプライアンス重要項目別に講義形式で学んでいく
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4月21日	ジャパnbrリッジ 内田 様	ITビジネスとは ビジネスの種類、ビジネスの類型、ITビジネスの特徴
2	4月28日	ジャパnbrリッジ 内田 様	ビジネスリスクとコンプライアンス 自然災害、経済・社会全体のリスク、セキュリティリスク、風評被害、競争リスク、など リスク・コンプライアンスへの対応
3	5月5日	授業なし	日本の司法制度 裁判所の種類、訴訟の種類、民事執行手続、倒産手続き
4	5月12日	ジャパnbrリッジ 内田 様	個人情報保護 個人情報漏洩・悪用のリスク、個人情報の定義、 改正個人情報保護法施行（2022年4月）プライバシーマーク
5	5月19日	ジャパnbrリッジ 内田 様	知的財産 知的財産（知的財産基本法）、産業財産権（工業所有権）、使用許諾（ライセンス） 著作権、商標権
6	5月26日	ジャパnbrリッジ 内田 様	公正な競争 独占禁止法（公正取引委員会不正競争防止法、景品表示法）
7	6月2日	ジャパnbrリッジ 内田 様	許認可と資格 許認可の例、登録、認可、許可、免許、外国人が経営・管理ビザで就労する場合 に人気のある許認可（第9回在留資格講義で解説）
8	6月9日	ジャパnbrリッジ 内田 様	雇用と労働 正規雇用と非正規雇用、雇用の際に会社が提示する書面、労働条件、社会保 険、解雇、職場におけるハラスメント
9	6月16日	ジャパnbrリッジ 内田 様	在留資格 短期滞在、活動に基づく在留資格（非就労資格）、活動に基づく在留資格（就 労系資格）、身分に基づく在留資格、帰化申請
10	6月23日	ジャパnbrリッジ 内田 様	税金・保証・保険 連帯保証人、抵当権
11	2023/6/29 第3限	ジャパnbrリッジ 内田 様	プロフェッショナルの活用 弁護士、司法書士、不動産鑑定士、コンサルティング
12	7月7日	ジャパnbrリッジ 内田 様	契約書の作成とチェック 秘密保持契約（NDAまたはCA）、売買契約、業務委託契約、など 契約に共通する、リスクが生じた際の対応方法、確認すべき項目
13	7月14日	ジャパnbrリッジ 内田 様	BCP対策 考慮すべきリスク、BCP対策の4段階、BCP対策の重要事項、BCP対策演習
14	7月21日	ジャパnbrリッジ 内田 様	期末試験
15	7月28日	ジャパnbrリッジ 内田 様	デジタルビジネスとコンプライアンス まとめと試験のフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	